

新規事業開発のむずかしさと自分に足りなかったもの

1. 新規事業開発への参加

- ・「農業」をテーマにした新規事業開発に参加
- ・農業の課題が多岐にわたる中、「農家の負担軽減」、「収益性の改善」を目的に設定
- ・目的に合致したスタートアップとつながり、役員に新規事業の提案を実施
- ・提案時のフィードバックから、ビジネスモデルの甘さ、みらいとしてその事業に取り組む意義が弱いことに気づき、新規事業の実施は見送りとした
- <指摘された事項>
- ・多岐にわたる農業の課題に対し、その目的設定は適切なのか
- ・スタートアップありきの提案になっていないか

2. プロジェクト中に感じていたこと

- ・決められた枠組みのなかで、スタートアップの提案内容を"選ぶ"側にいる
- ・新規事業だから、具体的な収益構造は後から考えればよい
- ・まずは、今後の農業支援につながる成果を出したい

3. 自分に足りなかったもの~3 つの不足~

- ・新規事業を"つくる"という意識の不足
- ・自分のやりたいことが先行し、会社の事業としての視点の不足
- ・他者が納得できるだけの論理的思考、説明の不足

4. 今後の成長に向けて意識していくこと

- ・ミッションの明確化
 - → 求められていること、期待されていることを理解する
- ・論理的思考力の強化
 - → 物事を多角的に捉え、客観的な思考プロセスを身に着ける
- ・フィードバックの受け止め
 - → 他者のフィードバックを素直に受け止め、自分の視野を広げる